

【シンガポール駐在員事務所】

「2011 年第 4 四半期マレーシア経済報告」

- 2月15日、マレーシア中央銀行バンク・ネガラ(BNM)は2011年第4四半期(10-12月期)のGDP成長率を前年同期比で+5.2%と発表した。欧州の債務問題などの影響で外需は不調だが、引き続き堅調な個人消費と民間投資及び公共投資等の内需の高い伸びが成長を下支えた。
- 2011年通年のGDP成長率は前年比+5.1%で、政府見通し(+5~+5.5%)の範囲内ではあったが、2010年の同+7.2%より成長は鈍化した。

【産業別 GDP 成長率】

産業	内容	GDP 構成比*1
農業	パームオイルと畜産の生産が前年同期比それぞれ+16.4%、+9.6%と好調な伸びを示した。農業全体では同比+6.9%の成長と比較的堅調に推移した。	7.1%
鉱業・採石業	天然ガスの生産は前年同期比プラス成長に回復したものの、原油、コンデンセートの生産は同比▲4.6%、▲10.6%とそれぞれ低下したことから、鉱業全体では同比▲3.3%となった。第3四半期と比べ落ち込み幅は縮小した。	6.2%
製造業	非金属鉱物・卑金属・金属製品分野は前年同期比+14.8%と5四半期連続で2桁成長を維持したほか、輸送機器・その他製造分野なども好調だったことから、製造業全体では同比+5.2%となった。	27.0%
建設業	住宅分野と公共事業分野とも好調で前年同期比+6.4%となり、第3四半期の同比+3.0%から伸びが拡大した。	3.3%
サービス業	金融・保険分野が前年同期比+6.4%、通信分野が同比+8.8%、運輸・倉庫分野が同比+6.2%となり、これらの高い伸びから、サービス業全体では同比+6.4%と堅調に推移したものの、第3四半期の同比+7.0%からやや鈍化した。	59.4%

*1: 金融サービスにおける帰属金利を控除(▲4.2%)、輸入税を加算(+1.5%)し合計100%となる

【産業別実質 GDP 成長率の推移(前年同期比)】

(単位: %)

業種	年	2010 年					2011 年				
		1Q	2Q	3Q	4Q	通年	1Q	2Q	3Q	4Q	通年
全産業		10.1	9.0	5.3	4.8	7.2	5.2	4.3	5.8	5.2	5.1
農業		7.2	2.8	3.0	▲3.9	2.1	▲0.2	6.9	8.2	6.9	5.6
鉱業・採石業		1.0	1.5	▲0.7	▲1.2	0.2	▲4.2	▲9.2	▲6.1	▲3.3	▲5.7
製造業		17.1	16.0	7.6	6.2	11.4	5.5	2.1	5.3*1	5.2	4.5
建設業		8.6	4.1	2.8	5.6	5.1	3.8	0.6	3.0	6.4	3.5
サービス業		8.6	7.4	5.3	6.1	6.8	7.0	6.8	7.0	6.4	6.8

*前回発表の値を今回発表時に修正
以上

【出所: “Economic and Financial Developments in the Malaysian Economy in the Fourth Quarter of 2011” BNM、
“National Product and Expenditure Accounts Fourth Quarter 2011” Department of Statistics, Malaysia、新聞記事】
照会先: 法人ソリューション営業部 国際業務室 (東京) 電話 03-6704-2723
(大阪) 電話 06-6268-6357

当資料は、信頼できると思われる情報に基づいて作成しておりますが、弊行がその正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前の連絡なしに変更されることもあります。当資料は情報提供のみを目的としており、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、お客様御自身でご判断下さいますようお願い致します。
* 禁断転載